

様に相成りました事は會社の衷心感謝措く能はざる處で御座います。尙第十七工場工員を酷使するとか近頃會社は爭議費用捻出の一方便として、新に作業を開始せる工場から粗悪品を製出するとか又は不熟練者の操業が自然品質を劣悪ならしめるとか其他種々の悪宣傳頻々として行はれますが、斯くの如きは全く爲にする處の虚説でありまして大方各位の夙に御熟知のことなるは勿論爭議團員すら之を信ずる者は稀有であらうと存じますので、管々しき辨明を省略致しますが、かゝる悪宣傳をしきりに放つ人々の心事は今更乍ら憐愍の情を禁じ得ません。爭議が一日も早く終息し國民生活必需品生産者としての責務を果したきは會社の寸刻も忘れざる處であります、その過程に於て不自然なる作爲や非紳士的なる悪宣傳や禍を後日に貽す如き彌縫策は會社では決して致しません。

過般解雇した百四十六名の入々の如きも如何なる事由ありとも斷じて復職はいたさせません。誠意に基き確信に立脚して順潮なる経過を以て有終の美を收め度切願いたして居ります。右第九工場操業開始につき御諒解を請ふと共に會社所信の一端を披瀝して御請鑑を辱ふ次第で御座います。

昭和二年十月 日

野田醬油株式會社

第十五、第十、兩工場作業開始ニ就テ

爭議勃發以來既に四旬を経過致しましたが、この間本社は當初より一貫せる方針の下に、確信に立脚し、誠意に基き、所期に向つて直進して参りました、幸に大方各位の強き御共鳴と熱烈なる御後援とを辱ふし第十七、第三、第九、の諸工場は夫々平常以上の能率を以て操業を繼續いたして居ります。爭議團側に於ては之に對して種々の悪宣傳を放ち、甚だ虚構の事實を羅列して妨害して居ります。けれ共是等は全く齒牙に懸くるに足らざる虚説でありますので、管々しき辨明は致しませんが、如斯浮説を流布して他人を中傷せんとする心中は今更乍ら憐愍を禁じ得ないものであります。

然る所漸く需要最盛季節に向つて参りますので、會社は多分妥協的態度に出で爭議團に有利なる状態に立到るべし等罷業團では申して居ります、然し乍ら昨今の如き事情の下に於て濫りに不自然なる作爲を以て爭議を解決せんとするが如きは會社の斷じて取らざる所であります。そこで會社は只管隱忍自重事件の順潮なる推移を冀ひ或は書信により或は社員を八方に派して罷業團員家族を慰問すると共に、工員諸子の反省を熱心に勸説いたして参りました。蓋し「爭議が終つたら出て働きませう」位に考へ居るものありとせば、そは徒らに苦痛と困惑とを増すに